

有害プランクトン情報 (平成27年度 - No. 8)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトンの調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えることがありますので、毎月1回「有害プランクトン情報」を発行して出現状況をお知らせします。

【プランクトンの出現状況】

- 調査日 11月 第1回 : 内湾 (8地点) 11/4 内房 (7地点) 11/6
 11月 第2回 : 内湾 (8地点) 11/16 内房 (7地点) 11/17
- シャットネラ属及びシュードシャットネラ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- ヘテロシグマ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- 有害プランクトンのカレニア ミキモトイ(写真1)は、11月4日に内湾北部の3地点(船橋, 千葉灯標, 盤洲北)で0.1~0.2細胞/mlの密度で確認されましたが、11月16, 17日の調査ではすべての調査点で確認されませんでした。

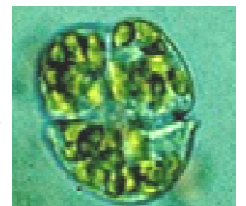


写真 1

長さ 0.02~0.04mm

しかし、本種は冬季にも発生することがあるので、今後も注意する必要があります。

※ シャットネラ属プランクトンは1細胞/1ml, ヘテロシグマ属プランクトンは1000細胞/1mlの密度を超えた場合に注意報を発行します。

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

11/4	内湾	渦鞭毛藻	<i>Akashiwo sanguinea</i>	(図1) (アカシオ サンガイネア 長さ:0.05~0.08mm)
11/6	内房	ケイ藻	<i>Cheatocecos pseudocurvisetum</i>	(図2) (キートケロス的一种 長径:0.01~0.05mm)
11/16	内湾北部	渦鞭毛藻	<i>Akashiwo sanguinea</i>	(図1) (アカシオ サンガイネア 長さ:0.05~0.08mm)
11/17	内湾南部 ~内房	ケイ藻	<i>Skeletonema sp.</i>	(図3) (スケルトネマ的一种 直径:0.01mm)



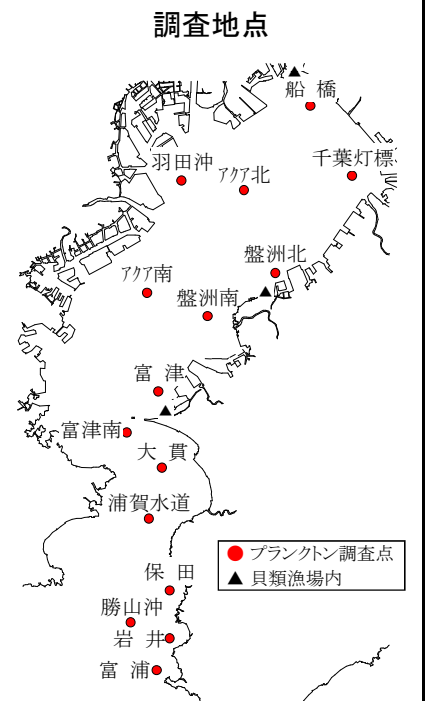
図 1



図 2



図 3



【貝毒プランクトンの状況】

- 調査日 沖 合 : 内湾 (8地点) 11/4
- 麻痺性貝毒及び下痢性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。

連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒 293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp